2022・2023年度熊本大学動物実験計画書

熊　本　大　学　長　　殿

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| □　新規　　□　継続　　□　変更　　(選択項目を■) | 提出年月日 | 年　　　　　月　　　　　日 | 受付番号 |  |
| ※　変更の場合変更事項を朱書きで記入 | ※継続､変更の場合前回の計画書の承認番号( 　　　　　　　 ） |  |
| 動物実験責任者名 | フリガナ |  |  | 部局、分野・学科名 | 職 | 動物実験の教育訓練 |
| 氏　名e-mail |  |  | 連絡先TEL:連絡先氏名・TEL・e-mail: |  | 受講番号（ ） |
| @ | 大学院生、研究生は指導教員の氏名 |
| 動物実験実施者名（括弧内にフリガナ）　　※教育訓練を受講していない場合は、教育訓練受講予定と記入（記入要領を参照） |  | （ |  | ） |  |  | 受講番号（ ） |
|  | （ |  | ） |  |  | 受講番号（ ） |
|  | （ |  | ) |  |  | 受講番号（ ） |
|  | （ |  | ) |  |  | 受講番号（ ） |
|  | （ |  | ) |  |  | 受講番号（ ） |
|  |  |
| 研 究 課 題□　開　示□　不開示(選択項目を■) |  |
| 開示を希望しない理由： |
|  |
| 研 究 目 的□　開　示□　不開示(選択項目を■) |  |
| 開示を希望しない理由： |
|  |
| 具 体 的 な研究計画と方法□　開　示□　不開示(選択項目を■)（不開示部分はﾏｰｶｰで示す） | 注意事項 （研究計画と方法及び動物に加える処置を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除の方法」等と整合性をもたせて記入。用語は略さずに記入、薬物を投与する場合は実験のどの段階で行うか明示する） |
| 開示を希望しない理由： |
|  |  |
| 実験実施期間（最長2年以内の年度末まで） | 承 認 後　　～　　　　年　　　月　　　日 | 中止・完了等 | 　　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
|  |
| 動物実験の種類(選択項目を■) | □ | 1. 試験・研究 | 動物実験を必要とする理由(選択項目を■) | □ | 1. 代替手段がない。 |
| □ | 2. 教育・訓練 | □ | 2.　代替手段の感度・精度が不十分である。 |
| □ | 3. その他 | □ | 3. その他(　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　) |
| 使　用　動　物（実験実施期間に使用する匹数を記入） | 動 物 種 | 系　統 | 性　別 | 匹　数 | 微生物学的品質（丸印） | 入手先（導入機関名） | 備　考 |
|  |  |  |  | ＳＰＦ，クリーン，ＣＶ |  |  |
|  |  |  |  | ＳＰＦ，クリーン，ＣＶ |  |  |
|  |  |  |  | ＳＰＦ，クリーン，ＣＶ |  |  |
|  |  |  |  | ＳＰＦ，クリーン，ＣＶ |  |  |
|  |  |  |  | ＳＰＦ，クリーン，ＣＶ |  |  |
| 上記動物の算出根拠とこの動物種を使用しなければならない理由(動物種ごとに) |  |
|  |
| 動物の飼養保管場所(選択項目を■) | □　動物資源開発研究施設（□新館　□本館）　　□　アイソトープ総合施設　　□　薬学部実験動物施設　□　その他の施設（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）承認番号　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日　　　(申請中の場合　：　受付番号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日)　 |
| 動物実験の実施場所(選択項目を■) | □　動物資源開発研究施設（□新館　□本館）　　□　アイソトープ総合施設　　□　薬学部実験動物施設□　その他の施設（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）承認番号　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日　　　(申請中の場合　：　受付番号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日)　 |
|  |  |  |
|  | 動　　物　　種 |  |
| 想定される苦痛のカテゴリー(選択項目を■)（別添　倫理基準参照） | □ |  | B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんど あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 |
| □ |  | C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 |
| □ |  | D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み（長時間持続するもの）を伴うと思われる実験。 |
| □ |  | E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い、またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。 |
| 上記で苦痛のカテゴリーC,D及びEに該当する場合右のa)､ｂ)に記入 | a)実験処置により動物にどのような苦痛が予想されるか具体的に記入 |  |
| b)苦痛を最小限あるいは排除するため別の実験系を検討したかを具体的に記入 |  |
| 動物の苦痛軽減、排除の方法(該当項目をすべて■) | □ |  | 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 |
| □ |  | 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 |
| □ |  | 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入：　　 )  |
| □ |  | 4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 |
| 手術後の動物の管理(該当項目をすべて■) | □頻回の観察 | □保温 | □補液 | □特別食の給餌 | □栄養剤の投与 |
| □鎮痛剤の投与 | □抗生物質の投与 |  |  |  |
| □その他(具体的に記入:　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| 安楽死の方法(該当項目をすべて■) | □ |  | 1. 麻酔薬等の使用　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 　　(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| □ |  | 2. 炭酸ガス |
| □ |  | 3. 中枢破壊 (具体的な方法を記入: 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) |
| □ |  | 4. 安楽死させない (理由　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　)(方法　: 　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　 ) |
| 動物死体の処理方法(選択項目を■) | □ |  | 1. 動物資源開発研究施設で処分 |
| □ |  | 2. 外部業者に委託 |
| □ |  | 3. その他 （具体的に記入： ） |
|  |  |  |  |
| 特殊実験区分(該当項目を■) | □　倫　理　委　員　会 | 申請書提出年月日：　　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| □　遺伝子組換え生物等第二種使用等安全委員会 | 申請書提出年月日：　　　　　　　年　　　　月　　　　日 |
| □有害物質使用　　※■の場合 ① 「具体的な研究計画と方法」欄の該当部分にアンダーラインを入れる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ② 「有害物質使用に関する事項」を本計画書と併せて提出する |
| 　 |
| 継続の場合前年度の成果や研究状況 | ※（前年度に発表した論文等、あるいは実施した実験の概要等を記載、必要に応じて別紙に記載） |
| 変更の場合は変 更 の 理 由 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 委員会記入欄 | 審査終了： 　　　　　年　　　月　　　日 |
| 修正意見等 |
| 審査結果　□　本実験計画は、熊本大学における動物実験規程等に適合する。　　　　　　　　　　（条件等　□　遺伝子組換え生物等第二種使用等実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。）　　　　　　　□　本実験計画は、熊本大学における動物実験規程等に適合しない。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 学 長 承 認 欄 | 承認： 　　　　　年　　　月　　　日 |
| 本実験計画を承認します。　　　　　　　　　　　承認番号： 第　　　　　　　　　　　　　　　　号熊　本　大　学　長 |